

## 再エネ設備情報及び省エネルギー対策の取組内容の公表資料

### \*設備概要

117.00kW の太陽光発電システムで、年間の想定発電電力量は 133,900kWh。

| 設備         | メーカー        | 型式                | 出力     | 数量    |
|------------|-------------|-------------------|--------|-------|
| 太陽電池モジュール  | Jinko Solar | JKM585N-72HL4-V-J | 585W   | 200 枚 |
| パワーコンディショナ | Huawei      | SUN2000-40KTL-NH  | 40.0kW | 2 台   |

### \*導入場所

株式会社ミート・コンパニオン 鶴ヶ島工場（埼玉県鶴ヶ島市柳戸町 7-1）  
の屋上に設置

### \*導入目的

- ・ **エネルギーコスト削減**  
自家消費により電力購入量を抑制し、長期的な経費削減を図る。
- ・ **再生可能エネルギーの利用推進**  
環境にやさしいエネルギーを活用することで、企業の社会的責任（CSR）を果たす。
- ・ **脱炭素社会への貢献**  
国や自治体が推進するカーボンニュートラルの取り組みに寄与する。
- ・ **企業価値向上**  
環境への取り組みを PR し、取引先や採用活動における企業イメージを高める。

### \*その他の事業者の再エネ設備導入の参考になる情報

- ・ **環境報告や認証取得に役立った**  
ISO14001 やエコアクション 21 など環境関連の認証において評価ポイントとなった。
- ・ **地域社会や取引先からの信頼が高まった**  
環境意識の高い取り組みとして、CSR 活動の一環として評価された。
- ・ **採用活動に好影響**  
環境配慮企業として学生や若手人材の関心が高まり、採用面でプラスに働いた。
- ・ **補助金や助成金の活用に成功**  
初期投資を抑えることができ、事業として導入のハードルが下がった。
- ・ **エネルギーマネジメント意識の向上**  
従業員が節電や再エネ活用に積極的に取り組むきっかけになった。

- ・ **設備導入後の電力使用量の「見える化」**  
モニタリングシステムで電力消費状況が分かりやすくなり運用改善につながった。
- ・ **電力の安定供給確保**  
停電リスクの軽減により、事業継続の安心感が高まった。

＊省エネルギー対策の取組内容

- ・ **バイオマスボイラーの導入**  
A 重油の使用量削減に加え、これまで廃棄物となっていた動物性残渣を有効活用。
- ・ **LED 照明の導入**  
高効率な照明への切り替えにより、省電力化を推進。
- ・ **空調・冷蔵・冷凍・ボイラー設備の更新**  
最新設備への更新により、消費電力および化石燃料の削減を実現。
- ・ **電気デマンドコントロールの活用**  
電力使用状況の「見える化」により、電力設備の運用改善を推進。